禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D27

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
３級 フラワー装飾 学科試験問題
（フラワー装飾作業）

1. 試験時間　1時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
      イ. 一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ハ. 答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　貝殻のモチーフに代表される様式は、ロココ様式である。

2　食卓の中央に飾るアレンジメントは、360°展開のデザインが適している。

3　スパイラルテクニックは、花束を束ねるテクニックの一つである。

4　アレンジメントのトライアンギュラーのデザインには、不等辺三角形もある。

5　色の三属性は、明度、彩度及び色相である。

6　グラデーションとは、明暗や色調などを段階的に変化させた配色のことである。

7　吸水フォームに切り花を挿すときは、一度挿してバランスを確認してから、再度同じ場所に挿すとよい。

8　ファンデーションワークは、構成にかかわらず、統一するとよい。

9　コサージは、装着したときの前後左右のバランスがとれている場合、重い方がよい。

10　結婚式で、新郎が胸元に付ける花飾りのことを、ブートニアという。

11　アレンジメントに使用するカーネーションには、必ずセキュアリングしておく。

12　アレンジメントの製作には、吸水フォームを使用しなければならない。

13　トライアンギュラーのアレンジメントは、180°展開である。

14　深い器を使って花をアレンジする場合、展示期間にかかわらず、補水は1回がよい。

15　フラワー装飾では、作品を壁に掛けることや、空間に吊るすことができる。

16　ポプリの主な素材(材料)は、ドライフラワーである。

17　すだちは、フルーツで作るポマンダーのベースに適していない。

18　コスモスは、プリザーブドフラワーに適している。

19　フローリストナイフは、特殊な刃であるため、個人が砥ぐことはできない。

20　竹を切断するための、専用のノコギリがある。

21　ヤブツバキは、実生だけでなく、挿し木でも繁殖させることができる。

22　スギは、日本の固有種である。

23　植物の木部は、主に、水分の通路の役割を果たす組織である。

24　パンジーは、サンシキスミレとも呼ばれている植物である。

25　ヒマワリは、キク科の植物である。

26　ヤマブキは、バラ科の植物である。

27　シャクヤクは、一年草の植物である。

28　切り花を水揚げするときは、切り花栄養剤を使用するとよい。

29　正月用の葉付きの竹は、できるだけ風通しが良い場所に陳列する。

30　ハサミやナイフの使用後は、薬剤等で消毒殺菌を行うとよい。